

国家公務員法等の一部を改正する法律案 読替表

○ 改正後の検察庁法附則第一条に基づく検察庁法（昭和二十二年法律第六十一号）第二十二条の読替え

（傍線部分は読替部分）

読 替 後	読 替 前
<p>第二十二条 検事総長は、年齢が六十五年に達した時に、その他の検察官は、年齢が六十四年に達した時に退官する。</p> <p>② （略）</p>	<p>第二十二条 検察官は、年齢が六十五年に達した時に退官する。</p> <p>② 次長検事及び検事長は、年齢が六十三年に達したときは、年齢が六十二年に達した日の翌日に、検事に任命されるものとする。</p>